



学校給食の味付けやバランスが分かった試食会でした

前号でお知らせした「浦島デー給食試食会」の感想を紹介します。（参加の皆様、ありがとうございました。）

- 野菜のナムル、ふしめん汁は薄味だったけれど、おいしく食べました。麦飯も学校給食ならではなあ、と思いました。
- 家の味付けと塩の量が違うので、うす味を心がけようと思う。
- 味付けも濃くなく薄くもなく、おいしかったです。野菜が多いメニューだと思いましたがボリュームもあったと感じました。
- 娘からうわさで聞いていた「ふしめんじる」の味付け等知れて良かった。大変参考になりました。
- バランスが良い食事内容だったと思います。家ではどうしても、親や子の好みに偏りがちなので、学校給食はとても重要だと思います。
- 野菜やちりめんからカルシウムがたっぷりとれていて、いいと思いました。子どもが給食がおいしいといつも言っていたので、今日試食して味が分かり納得しました。
- とてもおいしくいただきました。学校内に調理場があり、あたたかく、栄養士が献立管理をしていただけ現状をととてもありがたく思います。



試食会では栄養技師の小田先生から、香川県の野菜摂取の現状のお話がありました。香川県は、数年前まで野菜摂取量が全国ワースト1位という不名誉な記録がありましたが、現在少しずつ改善しているようです。明日2日は「野菜おかずの日」です。この機会に皆さんのご家庭でも野菜おかずに注目してみたいはいかがでしょうか。

「人権はしあわせづくり」で考えたこと

浦島デーの講演「人権はしあわせづくり」を聴いて書いた感想から数名の人のものをご紹介します。

- 人権についての話を聞いて、知っていることもあれば知らないこともたくさんありました。改めて人権とは「一人一人が持っている権利（自由、幸せになるなど）」ということが分かりました。権利は守られるから保障されるから権利と言えるし、人が幸せになるためには工夫が必要ということも知りました。「ユニバーサルデザイン」という言葉は耳にしたことはあるけど、今日聞いたのは宇宙のように数かぎりなくたくさんの方が使えるデザインのことだと分かりました。そして、一番大事だと思ったのは「だれにも公平」。この言葉の意味がすごく分かった講演会だったと思いました。
- はじめに人権とは何か？と聞かれたときに僕はこたえられませんでした。講演の話を聞いて、一人一人の違いや権利についてよく考えました。また、ユニバーサルデザインというみんなに対して平等な工夫について学んだりして、人と人との違いは決して悪いものではないということが分かりました。すべての話を聞き終わった後、はじめに聞かれたことの答えが少しわかったような気がしました。
- 人権についてわかった気がする。自分は、色覚障がいや手足が不自由とかもなく背が低いからできないということもないので、苦しんでいる人の気持ちが全然わかりませんでした。だけど今回の講演を聞いて、苦しんでいる人のことが少しでも分かった気がします。私は、そのような人を手助けしていける人になれば、と思いました。長所に自信を持つということは、難しいけどがんばってみます。相手のいやなことを言うよりお互いによいところを言いあって伸びていけたらいいなと思いました。幸せを追求することは、自分にも相手にも思いやり、共存することだと思います。

12月4日～10日は「人権週間」です。これは、国連が1948年12月10日に世界中の人々の人権を保障するための「世界人権宣言」を採択したことを記念して、法務省が人権についてしっかり考える期間として制定したものです。詫中でも12月8日に「人権集会」を行います。人権についてさらに考えていきましょう。